

広報

おほま 1

2013

《表紙》

今富公民館でペットボトルツリーの点灯式が行われました。市民約250人が見守る中、2人の子どもと市長が点灯スイッチを入れ、夜空にツリーの光が浮かび上がりました。

集まった子どもたちはツリーを見上げ、「きれい」などと歓声をあげていました。

※今富地区の活動はP11で紹介しています

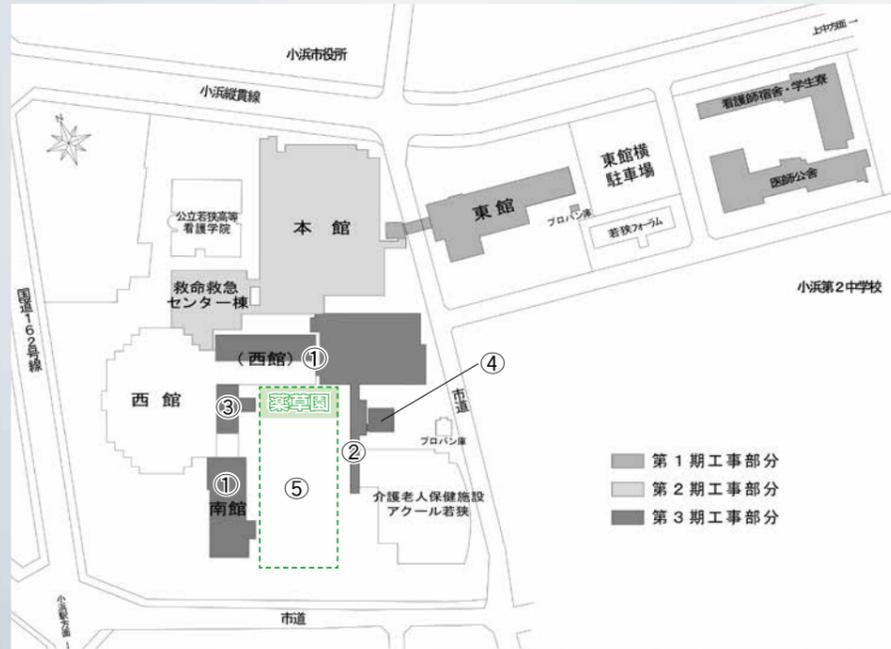
(11月23日)



【特集】高度医療施設が完成！
地域医療の発展に期待

杉田玄白記念公立小浜病院

高度医療施設が完成！ 地域医療の発展に期待



【第3期工事の建物など概要】

- ①増改築棟 鉄筋コンクリート造2階建て
1階：978.76平方メートル、2階：848.00平方メートル、
ピット：66.42平方メートル
- ②アクル渡り廊下 鉄骨造平屋建て
1階：163.350平方メートル
- ③中央処置室 鉄骨造平屋建て
1階：150.15平方メートル
- ④小児療育施設 鉄骨造平屋建て
1階：80.55平方メートル
- ⑤付属施設など
駐車場、中川淳庵頭彰葉草園

平成15年に始まった高度医療施設整備事業は、第1期・第2期工事と進められ、平成24年11月に第3期工事が終了。24日に竣工式を迎えました。

第3期工事では、中央処置室（採血、点滴、化学療法室）、小児療育施設、災害処置室、紹介患者窓口が新たに設けられ、リニアック室（放射線治療装置）と外来の一部などが移転。また、併せて医療機器の更新もされました。この事業完了で、今後の医療水準の向上が期待されます。

今月号では、第3期工事で整備した施設・機器を紹介するとともに、院長のインタビューから地域医療を担う小浜病院の現状と今後について考えます。

杉田玄白記念公立小浜病院 ☎ 52・0990（内線 2235）



第3期工事竣工式（11月24日・杉田玄白記念公立小浜病院）

第3期工事で整備した増築棟

第3期工事の概要

ここでは、第3期工事で新たに設置した施設（新設施設）と移転施設・外来などを紹介します。

●第3期工事で新たに設置した施設（新設施設）と移転施設・外来

新設施設	1階	中央処置室、小児療育施設、災害処置室、紹介患者窓口（地域連携室）
移転施設・外来	1階	リニアック室、脳神経外科、泌尿器科、一般食堂、売店
	2階	精神科、皮膚科、眼科、歯科口腔外科

中央処置室



中央処置室では、各外来診療がスムーズに行えるように、各科から依頼された検査・測定・説明・医療処置などを一括して行います。これまで、採血や点滴は各科が個別に実施していたため、看護師の負担が大きく、また時間的ロスもありました。中央処置室の設置で、より効率的な医療が行えるようになりました。

採血コーナー、点滴室、化学療法室



①採血コーナー②点滴室
③化学療法室

※化学療法室では、外来の患者さんに、抗がん剤治療を行います。部屋には音楽が流れ、アロマオイルを使うなどリラックスできる空間になっています

小児療育施設



障がいのある児童（18歳未満）の、日常生活の指導および自立生活に必要な知識技能を提供し、適切な療育を専門の施設で行えるようになりました。

運動場、プレイルーム、訓練室、スタッフルーム



付属施設



構内の駐車スペースは83台から185台と2倍以上に増加。立体駐車場などを含めると、計328台の駐車が可能となりました。

駐車場



増改築棟



診察室



シャワー室

災害処置室

放射線被爆をしたり、放射線物資で汚染した際に検査や除染を行う施設。シャワー室が設置され、放射線物質の洗浄除染を行うことができます。当施設はこのほか、新種のウイルス（新型インフルエンザなど）が発見された場合の、診察室としても利用されます。



リニアック室（放射線治療装置）

移転にともない最新の装置を導入し、常勤の専門医が治療にあたります。リニアックとは、エックス線や電子線などの放射線を当てて、がんなどの治療をする機器です。体の外から体内のがんなど病気の部分に向けて放射線を照射し、破壊したり進行を抑えたりします。病気の部位に到達するまで体を切り開かなければならない手術と比べて、正常な組織へのダメージが少なく、それらの機能を残したまま治療できます。治療を受ける際の体への負担も最小限です。

紹介患者窓口（地域連携室）



紹介状を持参した患者さんの診察予約や、他院への救急搬送手続きなどを行います。また、別室の医療福祉相談室では、患者さんやその家族の医療、生活、福祉などの相談にも応じます。

国 田 福 岐 県



第1・2期工事を振り返る

ここでは、第1期、第2期工事で整備した施設や機器について振り返ります。

第1期工事 (平成15～16年)



精神科病棟



医師公舎・学生寮・看護師宿舎

第1期工事では、精神科病棟（病床100床）と医師公舎（47戸）、看護師宿舎（40戸）、学生寮（55戸）を建設しました。

第2期工事 (平成17～19年)



高度医療施設棟

第2期工事では、ICU、CCU、救急処置室、手術室などを備えた救命救急センターのほか、病床数244を備えた9階建ての本館（高度医療施設棟）を建設しました。また、PET-CT、MRI、CT、血管撮影装置などの高度医療機器を整備しました。

院長インタビュー

高度医療施設設立の趣旨は。

医師・看護師不足が一番大きな問題であったことから、この高度医療施設整備事業で真っ先に取り上げたのが、医師・看護師宿舎と看護学生寮の整備です。つまり、医師・看護師を迎えやすい体制をつくることから当事業は始まっています。

また、小浜病院は若狭地方で1つしかない総合病院です。救急医療など初期治療から専門医療まで、若狭地方の医療は当院で完結するのが基本と考えています。

地域医療の抱える問題は。

今申し上げたとおり、医師・看護師不足が一番大きな問題です。医師・看護師宿舎は整備しましたが、それだけでは、魅力的な条件を備えたことにはなりません。職場環境を整えることも大切です。つまり、医師・

初期治療から専門医療まで

当院での完結を目指す

減ったことを確認することができ、シャワーできれいに体を洗い、線量が確認することができ、がんの放射線治療装置リニアックを更新することができました。また、当地域独自の問題として、原子力発電所での被爆事故があった場合に備えて、放射能汚染を取り除く災害処置室を整備しました。シャワーできれいに体を洗い、線量が確認することができ、がんの放射線治療装置リニアックを更新することができました。また、当地域独自の問題として、原子力発電所での被爆事故があった場合に備えて、放射能汚染を取り除く災害処置室を整備しました。

第3期工事の特徴は。

看護師個人の資質向上に十分理解を示し、自身の勉強や研修の成果を病院でしっかり発揮できる体制を整備することが重要です。

第3期工事の特徴は。

第3期工事では、外来診療室が手狭で、皆さんにご迷惑をおかけしていましたが、外来診療室が手狭で、皆さんにご迷惑をおかけしていましたが、外来診療室が手狭で、皆さんにご迷惑をおかけしていましたが、

医療機器の観点からは、がんの放射線治療装置リニアックを更新することができました。

また、当地域独自の問題として、原子力発電所での被爆事故があった場合に備えて、放射能汚染を取り除く災害処置室を整備しました。

来年度から

小浜病院で寄付講座を開始予定

寄付講座って何？

大学病院に新たに配置された教官が地域の病院に向き、地域医療学の視点から診療、教育、研究にあたる制度です。この制度により、小浜病院には、近隣の大学病院から、内科系など医師が不足している診療科に専門医師が派遣される予定です。

寄付講座の実施時期は？

実施時期は未定ですが、来年度早期の実現に向けて、現在協議・調整中です。

寄付講座実施の目的は？

地域医療の向上には、地域のニーズに即した医療支援システムの研究や主要な疾患に対応できる総合医の養成が必要と。また、地域医療を担う医師には、病気の専門的治療とともに、家族、職場、地域を視野に入れた幅広い医療活動が求められます。寄付講座の導入で地域医療水準の向上が期待されます。

来年度5月に

薬草園が開設

江戸時代の小浜藩医中川淳庵の功績をたたえる「中川淳庵顕彰薬草園」が、来年度5月、小浜病院西館横に開設されます。約100種類の薬草を植え、憩いの場として患者さんや地域住民をもてなします。



来年度5月に開設する中川淳庵顕彰薬草園の予定地（小浜病院西館横）

同園は、高度医療施設整備事業第3期工事の一環で整備され、医薬に関する学問「本草学（薬草を研究する学問）」に通じ、また、小浜藩医だった杉田玄白とともに解体新書出版に貢献した淳庵の功績をたたえようと、薬草園に名前を冠し、「中川淳庵顕彰薬草園」と名付けられました。

中川淳庵は、1739年、小浜藩医・中川仙安の子として江戸で生まれ、若い頃から幕府医官・田村藍水に師事して本草学

を学びました。同園には、当時、江戸や大阪で毎年のように開かれていた物産会「薬品会」で、淳庵が出品していた薬草のうち、ノゲイトウやウコン、アロエ、セリバオウレンなど約100種類の薬草が植えられました。同園の構想を練った小西名譽院長は、「漢方薬に使われる薬草に親しんでいただき、患者さんを始め、地域の人たちに薬草への理解を深めてもらいたい」と話しています。

* 同園開設を記念した「中川淳庵と本草学」展が、食文化館で来年度3月26日まで開かれています。食から健康を考える企画「医食同源」の一環で、淳庵が薬品会に出品した生薬の実物標本を展示。生薬のリスト、淳庵を紹介したパネルなども並べています。ぜひご来場ください。



杉田玄白記念公立小浜病院 院長 吉田 治義さん

●よしだ・はるよし 京都大学医学部卒。日ごろから大学病院などへ各専門科の医師派遣要請に出向く一方、みずからも腎臓内科の専門医として、外来診療にあたり



現在開催中の「中川淳庵と本草学」展（食文化館） ※入場無料。水曜日と12月28日～1月1日は休み